

第二回 第五次大阪狭山市総合計画「まちづくり市民会議」
10年後の“おおさかさやま”はどんなまち？
～ワールド・カフェの手法で～
報告書

1. 実施概要

日 時：平成30年8月19日（日）
10:00～12:00
場 所：大阪狭山市役所
第1・2会議室
参加者：37名



2. プログラムの概要

第二回会議では、ワールド・カフェ（※）の手法を用いて、次の3つの「問い」を起点として、参加者同士で会話を重ねることで意見を深めていきました。

※ ワールド・カフェとは……

1テーブルあたり4人が座り、「20分間会話し、それぞれ別のテーブルに移動する」というラウンドを3ラウンド行って、最後にフロア全体での意見共有を図るものです。これは、「カフェのようなくつろいだ環境での、自由闊達な会話を通してこそ、創造的な集合知が得られる」ということを科学してつくられた手法です。地域住民、事業者等、行政など様々な立場の人が、いっしょに考えて「おしゃべり」する濃密な時間を大切にしています。

（問い）

- ① あなたにとって、「おおさかさやま」の魅力といえばなんですか？
具体的な例をあげて話してください。
- ② あなたにとって、「おおさかさやま」の魅力といえばなんですか？
そのうち、他の人と共感しあえること、子どもに伝えたいこと、より磨いていきたいことはなんですか。
- ③ 「おおさかさやま」の将来像を描き、共有するというおしゃべりを楽しんでいただきました。
そうした将来の「おおさかさやま」のまちをつくっていくために、「私」や「私たち」が「明日からでも」できることはなんですか

起点としての「3つの問い」に対して、それぞれ 20 分間の会話を重ねた後、最後に次の 2 つの問いについて参加者が意見を出し合い、意見の共有を図りました。

(問い)

○あなたは大阪狭山市の「将来像」をどのように描きますか。

○その将来像に向けて「私(たち)」は、どんなことをしていけますか。

3. まとめ

会議の最後に意見共有した 2 つの問いに対する参加者の意見は次のとおりです。

(1) 私が描く大阪狭山市の「将来像」について

区分	件数 (回答者数に対する割合)
○ 交流・つながりに関する意見	17 件 (46.0%)
○ 住みやすさに関する意見	11 件 (29.7%)
○ 子育てしやすいまちに関する意見	9 件 (24.3%)
○ 若い世代、子どもが住みたいと思うまちに関する意見	7 件 (18.9%)
○ 自然に関する意見	5 件 (13.5%)
○ 市民と行政等の協働に関する意見	5 件 (13.5%)
○ 歴史・伝統文化に関する意見	3 件 (8.1%)
○ その他	6 件 (16.2%)
計	60 件 (37 名) -

※2 つの問について、各意見の延べ件数を集計しています。また、回答者数に対する割合を算出しています。

(主な意見)

■ 交流・つながりに関する意見

- 近所の人たちと笑顔を交わせるような優しいまち。
- 子どもが伸び伸びとし、高齢者との交流ができるまち。
- 人との” つながり ”をもっと持てる街にしていきたい。
- コンパクトで顔が見えるまち。
- 子どもから大人までのつながりがある場所。
- 地域による温度差を解消されたまち。

- 人と人とのつながり、まちと人とのつながり、市民同士（多世代間）の交流の場があるまち。
- 環境や社会情勢が変化しても、つながりを大切にしたい人の心は変わらないまち。
- 協力し合う人が集うまち。
- 行政と市民、親と子、高齢者と若者がつながる住みよいまち。

■ 住みやすさに関する意見

- 暮らしの拠点としての住みよい環境。
- 良い点を残し、課題を克服し、コンパクトで、ネットワークの充実した住みたい街、行きたい街、選ばれる街として持続的に発展することで都市価値の向上につなげていきたい。
- 住みやすいまち、日本一。
- 住みよい、完全な住宅地域の市とする。
- すべての人にとって「住みやすい」まちにする。
- 安心して、一生住めるまち。
- 新しい魅力を創出するまち。
- 「このまちが好き！」と言える人がたくさんいるまち。

■ 子育てしやすいまちに関する意見

- 子育てを中心に生活を行うのに最適な街をめざす。
- 子育てしやすいまちづくり。

■ 若い世代、子どもが住みたいと思うまちに関する意見

- 子どもたちが将来大人になった時、住みたい、関わりたいと自然に思うようになるまちにしたい。
- 若い世代がたくさん住み、その子どもも生き生きと生活しているまち。

■ 自然に関する意見

- みどり豊かで、教育に力を入れているまち。
- 狭山池の魅力をより一層高めるための努力。

■ 市民と行政等の協働に関する意見

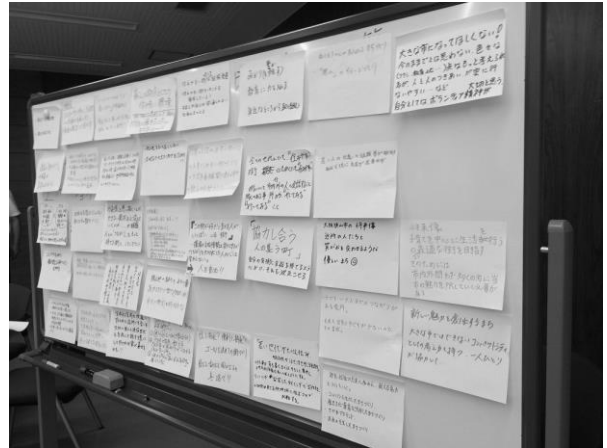
- 市民と行政との風通しがよい仕組みができたまち。
- 行政と市民、親と子、高齢者と若者がつながる住みよいまち。

■ 歴史・伝統文化に関する意見

- 狭山の伝統文化が大事にされているまち。
- 狭山池の魅力をより一層高めるための努力。
- 歴史文化遺産を活用したまち。

■ その他

- みどり豊かで、教育に力を入れているまち。
- 調整区域多く、これを市街化し住宅地を開発、税収も増える。
- 規制・誘導のまちづくりから地域・地区に応じたまちづくりへ。
- 医療の充実したまち。
- スマート・コンパクトシティの実現。
- 調整区域多く、これを市街化し住宅地を開発、税収も増える。



(2) 将来像に向けて、「私（たち）」にできることについて

区分	件数 (回答者数に対する割合)
○ 交流・つながりの促進に関する意見	9 件 (47.4%)
○ 魅力発信・PRに関する意見	7 件 (36.8%)
○ 市民参加・ボランティア等に関する意見	6 件 (31.6%)
○ 身近な活動に関する意見	4 件 (21.1%)
○ 狭山池の活用に関する意見	3 件 (15.8%)
○ その他	2 件 (10.5%)
計	31 件 (19名) -

※2つの問について、各意見の延べ件数を集計しています。また、回答者数に対する割合を算出しています。

(主な意見)

■ 交流・つながりの促進に関する意見

- 身近な人に思いやりを持って接する。あいさつの励行。
- 近所付き合いを大切にし、老人も現役世代も交流して話すようにしていく。
- 交流の機会を増やす。
- 気楽に話し合いができる環境づくり。
- 地域住民のコミュニティづくり。

■ 魅力発信・PRに関する意見

- 市内外問わず、多くの方に市の魅力をPRしていく必要がある。
- 「大阪狭山」のイメージづくり。
- 新たな市の魅力づくり。
- 大阪狭山をPRしていく。
- 他の街が「あこがれるまち」に変えていく。

■ 市民参加・ボランティア等に関する意見

- 人と人とのつながりが今の大阪狭山市をつくっていると思うので、みんながまちづくりに関わっていけるよう、まずは自分が積極的に参加する。
- ボランティア精神が大切と思う。
- 未来を担う子どもの育成。
- 市民一人ひとりの意見の統合をはかるシステムづくりに参画

■ 身近な活動に関する意見

- 自分の気持ちに余裕を持てるよう心がけ、それを他の人にも波及させていく。
- 関心のあることから「やってみて」、関心のあるところに「行ってみる」こと。

■ 狭山池の活用に関する意見

- 狭山池の魅力をより一層高めるための努力。

■ その他

- 住みよさに特化か、便利さに特化か、ゴールを決めてのまちづくりを。
- 大きな市ではできない、コンパクトシティとしての考え方を持つ。

